

R6年度 事務事業評価シート

130

課・局・室・所(係)

建築住宅課

建築係

事務事業番号

216010103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保		1	住宅整備の支援		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	建築行政推進事業	3	建築士技術者技能取得事業					行政内部管理	
事業概要	建築技術者が業務に必須となる技能を取得する。 ①酸素欠乏作業主任者は、建築技術者が地下ピットなどで設計調査や工事監理を行う際、酸素欠乏や硫化水素中毒になることを防ぐため、労働安全衛生法施行令第6条21号に基づき技能を取得する。 ②墜落制止器具使用作業特別講習の取得は、建築技術者が高所で設計調査や工事監理を行う際、墜落用制止器具を正しく用いて、転落事故を防ぐため、労働安全衛生法第59条第3項に基づき特別教育を受ける。					対象	監督職員に任じる職員		
						手段	講習・試験の受講		
						意図	酸素欠乏作業主任者技能講習・墜落制止器具使用作業特別講習の取得		

事業期間	R4 年度	～	R11以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳	(一般)		(一般)		研修負担金	59千円	研修負担金	33千円
	普通旅費	100千円	研修負担金	119千円	消耗品費	7千円	消耗品費	4千円
	消耗品費	14千円	消耗品費	14千円				
	研修負担金	115千円						
	(石綿)							
	消耗品費	4千円						
	研修負担金	24千円						
合計		257千円		133千円		66千円		37千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源		257千円		133千円		66千円	
合計		257千円		133千円		66千円		37千円
人工数 人件費	0.05人	287千円	-	千円	0.01人	59千円		
総経費		544千円		133千円		125千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	一般建築物石綿含有建材調査者人数	活動	3人	3人		
			3人	3人		
			100.00%	100.00%		
2	石綿作業主任者技能講習人数	活動	2人	1人		
			2人	0人		
			100.00%	0.00%		
3	酸素欠乏作業主任者技能・墜落制止器具使用作業特別講習人数	活動			4人	4人
					4人	
					100.00%	

成果	酸素欠乏作業主任者の資格の取得及び墜落制止器具使用作業特別講習の修了により、職員の安全確保につながっている。				
R8年度に向けた課題及び改善策	特になし。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

131 課・局・室・所(係) 建築住宅課 建築係 事務事業番号 216010201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保	1	住宅整備の支援		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	住宅リフォーム助成事業	1	住宅リフォーム資金助成制度				政策的
	リフォームを行う民間住宅の所有者に対し、山陽小野田市住宅リフォーム資金助成金交付要綱に基づき助成金を支給する。助成金の額は工事費の10%、限度額7万円で、市内業者の施工によるものに限る。				対象	自らが居住する家屋のリフォーム工事を行う家屋の所有者		
					手段	市広報紙等で広く募集し、工事完了後、助成金を支給する。		
					意図	地域経済の活性化と住環境の向上		

事業期間	R3以前	年度 ~	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	住宅リフォーム助成金	9,830千円	住宅リフォーム助成金	9,950千円	住宅リフォーム助成金	9,910千円	住宅リフォーム助成金	12,000千円	
	合計	9,830千円		9,950千円		9,910千円		12,000千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
一般財源	9,830千円		9,950千円		9,910千円		12,000千円		
合計	9,830千円		9,950千円		9,910千円		12,000千円		
人工数 人件費	0.45人	1,597千円	0.55人	2,261千円	0.50人	2,209千円			
総経費		11,427千円		12,211千円		12,119千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	助成金額	活動	10,000,000円	10,000,000円	10,000,000円	12,000,000円
			9,830,000円	9,950,000円	9,910,000円	
			98.30%	99.50%	99.10%	
2	助成件数	活動	—	—	—	—
			170件	180件	177件	
			—	—	—	
3						

成果	地域経済の活性化と住環境の向上につながっている。				
R8年度に向けた課題及び改善策	特になし。				
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

132 課・局・室・所(係) 建築住宅課 建築係 事務事業番号 216010301

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保		1	住宅整備の支援		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	住宅・建築物耐震化促進事業	1	住宅・建築物耐震化促進事業					政策的
	住宅の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強いまちづくりを推進する。昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅の耐震診断及び耐震改修を実施する者に対して補助金を交付する。					対象	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅		
						手段	耐震診断員の無料派遣及び耐震改修を実施する者に対する補助金の交付		
					意図	民間建築物の耐震性の確保			

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	耐震診断員派遣業務委託料	518千円		耐震診断員派遣業務委託料	592千円	耐震診断員派遣業務委託料	814千円	耐震診断員派遣業務委託料	920千円	
	耐震診断・改修事業補助金	1,000千円		耐震診断・改修事業補助金	1,000千円	耐震診断・改修事業補助金	758千円	耐震診断・改修事業補助金	1,150千円	
	合計	1,518千円		合計	1,592千円	合計	1,572千円	合計	2,070千円	
	国庫支出金	1/2	759千円	1/2	796千円	1/2	786千円	1/2	1,035千円	
	県支出金	1/4	379千円	1/4	398千円	1/4	392千円	1/4	517千円	
地方債										
その他										
一般財源	1/4	380千円	1/4	398千円	1/4	394千円	1/4	518千円		
合計		1,518千円		1,592千円		1,572千円		2,070千円		
人工数	人件費	0.12人	688千円	0.18人	1,049千円	0.22人	1,300千円			
総経費		2,206千円		2,641千円		2,872千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	民間木造住宅耐震診断件数	活動	20件	20件	20件	10件
			7件	8件	11件	
			35.00%	40.00%	55.00%	
2	民間木造住宅改修件数	活動	1件	1件	1件	1件
			1件	1件	1件	
			100.00%	100.00%	100.00%	
3						

成果	民間建築物の耐震性の確保につながっている。				
R8年度に向けた課題及び改善策	木造住宅耐震改修事業補助金申請件数の増加に対応するため、社会資本整備総合交付金等を確保する必要がある。				
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	拡大
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

133 課・局・室・所(係) 建築住宅課 住宅管理係 事務事業番号 216020118

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保	2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	市営住宅維持管理事業	18	市営住宅昇降機修繕工事				政策的	
事業概要	市営住宅の昇降機4基(古開作第二団地H-1棟とH-2棟、神帆団地D棟、萩原団地1棟)の経年劣化により、修繕が必要である。取替時期を迎えた部品の取替えや修繕を行い、昇降機の安全性を確保し適正な維持管理を図る。				対象	市営住宅の昇降機4基		
					手段	取替時期を迎えた部品の取替えや修繕		
					意図	昇降機の安全性を確保する。		

事業期間	R4 年度	~	R11以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	修繕料	1,496千円	修繕料	3,607千円	修繕料	1,448千円	修繕料	3,764千円
	合計	1,496千円		3,607千円		1,448千円		3,764千円
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
一般財源	1,496千円		3,607千円		1,448千円		3,764千円	
合計	1,496千円		3,607千円		1,448千円		3,764千円	
人工数 人件費	0.05人	287千円	0.05人	291千円	0.05人	296千円		
総経費		1,783千円		3,898千円		1,744千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	修繕工事の実施	活動	主回路制御ユニット、主ロープ等の交換	乗場敷居、定電圧装置の取替え	タビ用ブリーチ品、引込開閉器盤等取替え	サビ除去、サビ塗装、膨らみの修理
			完了	完了	完了	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	昇降機の安全性の確保につながっている。				
R8年度に向けた課題及び改善策	特になし。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

134 課・局・室・所(係) 建築住宅課 住宅管理係 事務事業番号 216020119

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保	2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	市営住宅維持管理事業	19	市営住宅屋根防水工事				政策的	
事業概要	萩原団地117棟の屋根の防水シートが強風ではがれ落ちたため、改修を行う必要がある。				対象	萩原団地117棟の屋根		
					手段	防水シートを貼る。		
					意図	市営住宅の雨漏りを防止する。		

事業期間	R5 年度	~	R6 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳			工事請負費	4,917千円	工事請負費	4,719千円		
					アスベスト調査委託料	千円		
合計				4,917千円		4,719千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源				4,917千円		4,719千円	
合計				4,917千円		4,719千円		
人工数 人件費	0.00人	千円	0.17人	990千円	0.21人	1,241千円		
総経費				5,907千円		5,960千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	屋根防水工事の実施	活動		屋根防水工事(萩原116棟) 完了 100.00%	屋根防水工事(萩原117棟) 完了 100.00%	
2						
3						

成果	市営住宅の雨漏り防止につながっている。					
R8年度に向けた課題及び改善策	特になし。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

136 課・局・室・所(係) 建築住宅課 住宅管理係 事務事業番号 216020201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保	2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	市営住宅解体・建替え事業	1	市営住宅解体工事(単独)				政策的
	山陽小野田市市営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した市営住宅を計画的に解体していく。防犯上及び安全上危険な空き家をなくし市営住宅団地内外の居住環境を改善するとともに、将来的に負担を先送りすることなく、計画的に市営住宅ストックを管理していく。				対象	市営住宅の老朽空き家		
					手段	解体工事		
					意図	市営住宅の安全性確保、将来の負担の平準化		

事業期間	R3以前	年度 ~	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
	工事請負費	14,190千円	工事請負費	29,645千円	工事請負費	2,860千円	工事請負費	34,237千円	
	空き家具撤去等業務委託料	1,386千円	空き家具撤去等業務委託料	726千円	空き家具撤去等業務委託料		アスベスト調査委託料	347千円	
	アスベスト調査委託料	574千円	アスベスト調査委託料	883千円	アスベスト調査委託料	220千円	空き家具撤去等業務委託料	339千円	
	合計	16,150千円		31,254千円		3,080千円		34,923千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債	100%	14,000千円	100%	29,500千円	100%	2,800千円	100%	34,500千円
	その他								
	一般財源		2,150千円		1,754千円		280千円		423千円
合計		16,150千円		31,254千円		3,080千円		34,923千円	
人工数 人件費	0.64人	3,669千円	0.52人	3,029千円	0.20人	1,182千円			
総経費		19,819千円		34,283千円		4,262千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	解体実施	活動	5棟	9棟	1棟	2棟
			5棟	9棟	1棟	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	市営住宅の安全性確保及び将来の負担の平準化につながっている。				
R8年度に向けた課題及び改善策	特になし。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

136 課・局・室・所(係) 建築住宅課 建築係 事務事業番号 216020125

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保	2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	市営住宅維持管理事業	25	高所作業用墜落制止器具購入				政策的	
事業概要	厚生労働省は、「安全帯」を「墜落制止用器具」として規格改正し、以後、高所作業には、この規格にあった安全帯を用いることとなった。職員の安全を確保するとともに工事受注業者に範を示すため、同器具の速やかな配備が必要である。				対象	監督職員に任ずる職員		
					手段	器具購入による法適合		
					意図	法令適合による職員の安全確保及び工事受注業者への垂範		

事業期間	R6 年度	～	R6 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳					庁用器具費	74千円		
	合計					74千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						74千円	
合計						74千円		
人工数	人				0.01人	59千円		
総経費						133千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	安全帯購入	活動			8組 7組 87.50%	
2						
3						

成果	職員の安全確保及び工事受注業者への垂範につながっている。					
R8年度に向けた課題及び改善策	特になし。					
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

137

課・局・室・所(係)

建築住宅課

住宅管理係

事務事業番号

216020304

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保		2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	市営住宅長寿命化事業	4	市営住宅改修事業					政策的
	令和3年度策定の山陽小野田市市営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の安全性の確保、劣化の低減、耐久性及び居住性の向上等のため改善事業を計画的に実施し、適正な維持管理を行い長寿命化を図る。					対象	長寿命化計画において改善事業の対象である市営住宅		
						手段	改善事業の実施		
					意図	市営住宅の安全性の確保、劣化の低減、耐久性及び居住性の向上等のため改善事業を計画的に実施し、適正な維持管理を行い長寿命化を図る。			

事業期間	R5	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
	工事請負費	38,280千円	工事請負費	77,517千円	工事請負費	60,170千円	工事請負費	152,553千円		
	工事請負費(繰越明許)	26,114千円	設計委託料	12,781千円	設計委託料	10,329千円	手数料	213千円		
			地質調査委託料	6,325千円						
	合計	64,394千円		96,623千円		70,499千円		152,766千円		
財源内訳/割合	国庫支出金	1/2	32,197千円	1/2	42,583千円	1/2	18,640千円	1/2	57,910千円	
	県支出金									
	地方債	100%	32,000千円	100%	53,700千円	100%	51,800千円	100%	94,500千円	
	その他									
	一般財源		197千円		340千円		59千円		356千円	
合計		64,394千円		96,623千円		70,499千円		152,766千円		
人工数	人件費	0.97人	5,561千円	1.48人	8,622千円	1.01人	5,970千円			
総経費		69,955千円		105,245千円		76,469千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7	
1	改善事業の実施	活動	屋上防水工事等	屋上防水工事等	給排水施設改修等	屋上防水工事等
		完了	完了	完了		
		100.00%	100.00%	100.00%		
2						
3						

成果	市営住宅の安全性の確保、劣化の低減、耐久性及び居住性の向上等のための改善事業により長寿命化につながっている。					
R8年度に向けた課題及び改善策	事業の実施に当たり、社会資本整備総合交付金を確保する必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	※令和4年度の決算額及び活動指標は、事務事業「市営住宅屋上防水改修工事」及び「市営住宅外壁改修工事」の合計です。					

R6年度 事務事業評価シート

138 課・局・室・所(係) 建築住宅課 住宅管理係 事務事業番号 216020305

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保		2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	市営住宅長寿命化事業	5	市営住宅建替整備事業					政策的
	令和3年度策定の山陽小野田市市営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年数超過により安全性や設備水準が低い市営住宅の建替事業を計画的に実施し、市営住宅の安全性及び住宅の質の確保等により、現状の社会情勢や住生活を取り巻く環境に合わせた対応を図る。					対象	長寿命化計画において建替え事業の対象である市営住宅		
						手段	建替え事業の実施		
						意図	市営住宅の安全性及び住宅の質の確保等により、現状の社会情勢や住生活を取り巻く環境に合わせた対応を図る。		

事業期間	R5 年度	～	R11以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳			計画策定委託料	17,600千円	設計委託料	18,392千円	工事請負費	250,536千円
			測量調査委託料	19,290千円	工事請負費	13,849千円	設計委託料	51,868千円
			工事請負費	25,850千円	市営住宅入居者移転補償金	60千円	地質調査委託料	27,104千円
			市営住宅入居者移転補償金	241千円	修繕料	4,195千円	手数料	3,286千円
			通信運搬費	484千円	通信運搬費	1,325千円	空き家具撤去等業務委託料	3,050千円
			手数料	241千円	手数料	487千円	補償金	1,356千円
			会場借上料	20千円	アスベスト調査委託料			
		合計			63,726千円		38,308千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金		1/2	9,926千円	1/2	8,285千円	1/2	132,739千円
	県支出金							
	地方債				100%	8,100千円	100%	197,600千円
	その他							
	一般財源				53,800千円		21,923千円	
	合計			63,726千円		38,308千円		337,200千円
人工数 人件費			0.67人	3,903千円	1.03人	6,089千円		
総経費				67,629千円		44,397千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	建替え事業の実施	活動		引越先改修工事等 完了 100.00%	引越先改修工事等 完了 100.00%	解体工事等
2						
3						

成果	市営住宅の安全性及び住宅の質の確保等につながっている。					
R8年度に向けた課題及び改善策	事業の実施に当たり、社会資本整備総合交付金を確保する必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

139 課・局・室・所(係) 建築住宅課 住宅管理係 事務事業番号 216020401

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	16	住環境の確保		2	市営住宅の適正管理		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
4	市営住宅入居者の移転促進事業	1	漁民アパート入居者移転促進					政策的	
事業概要	本団地は、昭和43年度と昭和45年度に建設されており、築50年を経過し、老朽化している。また、その土地が借地であることから、市営住宅としての用途を廃止し、土地を賃借人に返還するため、入居者に移転料等を支払い、入居者の円滑な移転を図る。					対象	入居者		
						手段	移転促進		
						意図	将来的な借地の返還		

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
	市営住宅入居者移転補償金			市営住宅入居者移転補償金			市営住宅入居者移転補償金		市営住宅入居者移転補償金	410千円
	市営住宅入居者移転先家賃補助金	4千円		市営住宅入居者移転先家賃補助金			市営住宅入居者移転先家賃補助金		市営住宅入居者移転先家賃補助金	221千円
	合計	4千円								631千円
	財源内訳/割合									
国庫支出金										
県支出金										
地方債										
その他										
一般財源		4千円								631千円
合計		4千円								631千円
人工数 人件費	0.03人	172千円		0.03人	175千円		0.03人	177千円		
総経費		176千円			175千円			177千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	家賃補助世帯数	活動	1世帯	1世帯	1世帯	1世帯
			1世帯	0世帯	0世帯	
			100.00%	0.00%	0.00%	
2	移転補償費支給世帯数	活動	1世帯	1世帯	1世帯	1世帯
			0世帯	0世帯	0世帯	
			0.00%	0.00%	0.00%	
3						

成果	漁民アパートからの新規の退去者はなかった。				
R8年度に向けた課題及び改善策	入居者に高齢者が多く、退去が困難な状況である。				
目標達成度	D	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

140 課・局・室・所(係) 都市計画課 都市整備係 事務事業番号 217010106

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	都市公園維持管理事業	6	大規模公園環境美化事業				政策的	
事業概要	竜王山公園、若山公園、江汐公園、物見山公園のソメイヨシノは、近年、テング巣病に感染した桜が目立つようになっている。そのため、テング巣病感染部の枝を切除するとともに、テング巣病が重症化したソメイヨシノについては、伐採し、テング巣病に強い品種の桜(エドヒガン等)に更新する。				対象	大規模な都市公園		
					手段	テング巣病感染枝の切除と重症化したソメイヨシノは伐採し、テング巣病に強い品種の桜(エドヒガン等)に更新する。		
					意図	樹木の適切な管理を行う。		

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	(竜王山公園)		(竜王山公園)		(竜王山公園)					
	テング巣処理等	1,617千円	テング巣処理等	1,518千円	テング巣処理等	1,738千円				
	合計	1,617千円	合計	1,518千円	合計	1,738千円				
	国庫支出金									
財源内訳 / 割合	県支出金	ゆめ花開花 50%	809千円							
	地方債									
	その他	市町村振興	270千円	まちづくり	1,518千円	まちづくり	1,738千円			
	一般財源		538千円							
合計		1,617千円		1,518千円		1,738千円				
人工数	人件費	0.10人	573千円	0.03人	175千円	0.02人	118千円			
総経費		2,190千円		1,693千円		1,856千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	テング巣病処理数	活動	30	30	30	
			28	17	63	
			93.00%	56.67%	210.00%	
2	更新樹木数	活動	0	0	0	
			0	0	0	
			0.00%	0.00%	0.00%	
3						

成果	当初想定していたよりもテング巣病に感染した桜が近接していたこともあり作業効率が上がり当初想定した目標を上回る病巣の除去を実施することができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	年次的に病巣の除去を行っているものの竜王山の桜のほとんどがテング巣病に感染しており、毎年の剪定では感染の拡大に追いついていない。今後も引続き病巣の除去を行うと共に指定管理者と連携して間伐等、管理の方法を検討する必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	令和5・6年：まちづくり魅力基金を活用し、事業実施している。					

R6年度 事務事業評価シート

141

課・局・室・所(係)

都市計画課

管理緑地係

事務事業番号

217010203

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	都市公園施設整備事業	3	管理施設改修事業				政策的
	都市公園内にある管理施設について、長寿命化を図るための改修等を行う。				対象	都市公園内の管理施設		
					手段	施設の改修		
				意図	公園の利用促進を図る			

事業期間	R4 年度	～	R11以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	工事請負費		工事請負費		工事請負費	9,307千円	工事請負費	28,000千円
	江汐公園トイレ改修	1,100千円	江汐公園外灯改修	735千円	備品購入費	1,687千円	物品購入費	185千円
	合計	1,100千円	735千円			10,994千円		28,185千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債				脱炭素化推進事業債・緊防債	9,800千円	脱炭素化推進事業債	25,200千円
	その他	江汐公園施設整備基金	1,100千円	江汐公園施設整備基金	735千円			
	一般財源					1,194千円		2,985千円
合計	1,100千円	735千円			10,994千円		28,185千円	
人工数 人件費	0.05人	287千円	0.05人	471千円	0.60人	3,320千円		
総経費		1,387千円		1,206千円		14,314千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7
1	完了施設数	1	1	2	2
		1	1	2	
		100.00%	100.00%	100.00%	
2					
3					

成果	須恵健康公園の街路灯及び体育館の照明について、LED改修を実施した。また、老朽化したテニスコート審判台を改修した。このことにより、安全性の確保や快適性の向上を図ることができた。				
R8年度に向けた課題及び改善策	脱炭素化、安全性の確保等の観点から、他の公園施設についてもLED化を図る必要がある。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	R7年度に江汐公園外灯改修を実施予定				

R6年度 事務事業評価シート

142 課・局・室・所(係) 都市計画課 都市整備係 事務事業番号 217010207

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	都市公園施設整備事業	7	竜王山公園オートキャンプ場施設等更新事業				政策的	
事業概要	竜王山公園のオートキャンプ場にある各施設の老朽化が進行しているため、その更新を行う。				対象	竜王山公園オートキャンプ場利用者		
					手段	キャンプ場施設の更新		
					意図	宿泊人数の増加促進		

事業期間	R4 年度	～	R8 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	機械器具借上料		機械器具借上料		工事請負費			
	(出入口ゲート)	209千円	(出入口ゲート)	1,254千円	(高圧電線更新)	4,147千円		
	工事請負費		備品購入費					
	(トレーラーハウス撤去)	1,227千円	(貯水槽残留塩素)	8,627千円				
			(給湯器交換)	3,543千円				
合計	1,436千円		13,424千円		4,147千円			
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債		一般	6,400千円				
	その他							
	一般財源	1,436千円		7,024千円		4,147千円		
合計	1,436千円		13,424千円		4,147千円			
人工数 人件費	0.10人	573千円	0.30人	1,928千円	0.10人	478千円		
総経費	2,009千円		15,352千円		4,625千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	オートキャンプ場全体利用者	成果	19774	13255	11787	
2	キャンプ利用者	成果	15186	10639	8823	
3						

成果	経年劣化により絶縁不良となった高圧ケーブルの更新を行うことで、電力の安全供給を図った。				
R8年度に向けた課題及び改善策	今後も老朽化した施設の更新を年次的に実施していく必要がある。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

143 課・局・室・所(係) 都市計画課 都市整備係 事務事業番号 217010208

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	17	公園・緑地の整備・保全	1	都市公園の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	都市公園施設整備事業	8	スマイルエイジングパーク事業			運動 交流	政策的
	健康寿命の延伸を目指すスマイルエイジング事業の一環として、市内4か所の都市公園等でウォーキングコースの園路改修や健康遊具の設置を進め、市民の運動習慣を促すための環境整備を行います。令和4年度からは糸根公園と青年の家が立地する区域をスマイルエイジングパークと称して一体的に整備を進めています。				対象	須恵健康公園、江汐公園、糸根公園、厚狭川河畔寝太郎公園ゆめ広場		
					手段	健康遊具の設置及びウォーキング用園路の改修		
					意図	運動習慣のきっかけづくりと健康寿命の延伸		

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	糸根公園					測量調査委託料	30,804千円	調査委託料	3,000千円	
	計画策定委託料	9,482千円				普通旅費	83千円	普通旅費	56千円	
	繰越明許									
	厚狭川河畔 寝太郎公園ゆめ広場									
	工事請負費 (健康遊具設置)	3,651千円								
	合計	13,133千円						30,887千円		3,056千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金	ゆめ花開花 50%	2,846千円							
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	6,636千円			まちづくり魅力基金	30,800千円	まちづくり魅力基金	3,000千円	
	一般財源		3,651千円				87千円		56千円	
合計		13,133千円				30,887千円		3,056千円		
人工数 人件費	0.55人	3,329千円				0.45人	2,660千円			
総経費		16,462千円					33,547千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	健康遊具設置公園数	活動	1			
			1			
			100.00%			
2	スマイルエイジングパーク整備基本計画の策定	活動	計画策定			
			1			
			100.00%			
3	糸根公園整備事業 業務委託(測量・調査・設計) 工事	活動		事業手法の検討	用地測量	費用対効果
				1	1	
				100.00%	100.00%	

成果	令和6年度は、公園整備の範囲を明確にするために用地測量を実施した。また、防衛省所管の民生安定施設助成事業の活用を見込み、防衛省と協議を行った。					
R8年度に向けた課題及び改善策	令和7年度に実施する費用対効果分析の結果、費用対効果が1未満となった場合には、効果(便益)を維持しながら費用を抑える方法を検討する必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

144 課・局・室・所(係) 下水道課 計画係 事務事業番号 218040101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	公共下水道整備事業	1	下水道管渠整備事業				政策的
	国土交通省から令和8年度までに汚水処理施設の整備について概成するよう求められている。これに伴い本市の汚水処理施設整備構想を見直し、全体計画区域の縮小を行うとともに令和8年度の公共下水道整備進捗率が95%を達成できるように努める。				対象	汚水管渠		
					手段	汚水管渠の整備		
					意図	公共下水道の汚水管網の整備を推進し、普及率の向上を図る。		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	下水道事業会計
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	調査設計委託料(補助)	12,100千円	調査設計委託料(補助)	6,600千円	管渠整備工事(補助)	113,518千円	管渠整備工事(単独)	193,750千円		
	工事請負費(補助)	224,928千円	工事請負費(補助)	169,008千円	管渠整備工事(単独)	162,072千円	管渠整備工事(補助)	81,700千円		
	補償金(補助)	8,936千円	工事請負費(単独)	101,719千円	調査設計等委託(補助)	15,481千円	補償金(単独)	47,000千円		
	補償金(単独)	1,858千円	補償金(補助)	23,852千円	調査設計等委託(単独)	14,088千円	補償金(補助)	28,300千円		
	工事請負費(単独)	77,655千円	補償金(単独)	877千円	補償金(単独)	1,727千円	工具・器具及び備品購入費(純単)	1,133千円		
	計画策定委託料(単独)	14,045千円	固定資産購入費(純単独)	1,053千円	補償金(補助)	26,026千円	機器等賃借料	622千円		
	調査委託料(純単)	2,594千円	固定資産購入費(純単独)	1,232千円	その他	2,098千円	その他	1,476千円		
合計	342,116千円	304,341千円	335,010千円	353,981千円						
財源内訳/割合	国庫支出金	社会資本50%	122,982千円	50%	99,730千円	50%	77,513千円	50%	55,000千円	
	県支出金									
	地方債	下水道事業債100%	197,717千円	特財を除き100%	184,288千円	特財を除き100%	236,872千円	特財を除き100%	281,750千円	
	その他	受益者負担金	18,823千円	受益者負担金	18,038千円	受益者負担金	17,227千円	受益者負担金	14,900千円	
	一般財源	繰入金	2,594千円	繰入金	2,285千円	繰入金	3,398千円	繰入金	2,331千円	
合計	342,116千円	304,341千円	335,010千円	353,981千円						
人工数	2.77人	16,935千円	2.65人	16,518千円	2.80人	15,872千円				
総経費	359,051千円	320,859千円	350,882千円							

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7	
1	管渠整備延長	活動	2,000m	1,200m	1,900m	2,500m
			4,165m	2,859m	868m	
			208.25%	238.25%	45.68%	
2	公共下水道整備進捗率 (公共下水道処理区域人口÷公共下水道全体計画区域人口×100)	成果	90.9%	91.9%	93.0%	94.0%
			89.9%	91.8%	94.8%	
			98.90%	99.89%	101.94%	
3	汚水処理人口普及率 (公共下水道処理区域人口+農業集落排水区域人口+浄化槽利用人口)÷住民基本台帳人口×100)	成果	83.7%	84.7%	85.7%	86.7%
			82.8%	84.4%	86.7%	
			98.92%	99.65%	101.17%	

成果	管渠整備延長は、目標値の50%未満ではあったが、整備進捗率及び普及率は順調に推移している。公共下水道未普及対策として令和8年度までに公共下水道整備進捗率概成95%を目指す目標に向けて、公共下水道全体計画区域人口の精査を実施した。					
R8年度に向けた課題及び改善策	未普及対策事業は、全国的な国の方針により令和8年度で一旦の区切りを迎える。令和8年度に予定している汚水処理構想、全体計画の見直しと合わせて、残事業区域の精査を行い、必要に応じて、区域の縮小を行う。					
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	【R5→R6繰越明許 181,843千円】支出:調査設計業務委託(補助) 12,641千円、調査設計業務委託(単独) 8,328千円、管渠整備工事(補助) 77,418、管渠整備工事(単独) 83,456千円 収入:国庫補助金 45,030千円、地方債 136,755千円、一般財源 58千円					

R6年度 事務事業評価シート

145

課・局・室・所(係)

下水道課

維持係

事務事業番号

218040103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
1	公共下水道整備事業	3	小野田西地区農集公共下水道接続事業				政策的
事業概要	平成28年度に実施した汚水処理施設整備構想の見直しの結果、小野田西地区農業集落排水施設の維持更新費用と公共下水道へ統合する場合の長期的な経済比較を行った結果、統合した方が有利と判定された。令和2年度に接続工事が完了し、令和3年4月1日から公共下水道として供用開始。小野田西地区農業集落排水施設の廃止に伴い、処理場内の機器類の撤去や処理槽の埋め戻し等を年次的に行う。				対象	小野田西地区農業集落排水施設	
					手段	汚水処理施設整備構想の見直し結果に基づき、公共下水道に接続する。また、廃止後の施設について、適切な処置を行う。	
					意図	処理場の維持管理費を削減する。	

事業期間	R2以前	年度 ~	R6	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	下水道事業会計
	R4(決算額)		R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳						機器及び装置除却費	15,620千円		
	合計						15,620千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他					使用料	15,620千円		
一般財源									
合計							15,620千円		
人工数	人	件	費			0.05人	296千円		
総経費							15,916千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7
1	施設廃止後の処理	活動	機器撤去(委託)	機器撤去(工事) 完了 100.00%	
2					
3					

成果	機器の撤去工事を行った。				
R8年度に向けた課題及び改善策	特になし。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

146 課・局・室・所(係) 下水道課 小野田水処理センター 事務事業番号 218040104

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	公共下水道整備事業	4	処理場・ポンプ場長寿命化事業				政策的
	小野田水処理センターは、昭和56年供用開始、山陽水処理センターは、平成元年供用開始、下水道ポンプ場(小野田処理区)は平成8年供用開始、下水道ポンプ場(厚狭処理区)は平成6年供用開始、どの施設も経年劣化による機能低下が顕著になっている。これらの機能を回復させるため施設の長寿命化・改築・更新を行う。				対象	小野田水処理センター、山陽水処理センター、高千帆汚水中継ポンプ場、竜王汚水中継ポンプ場、厚狭汚水中継ポンプ場		
					手段	事業計画に基づき施設の長寿命化・改築・更新を行う。		
					意図	良好な汚水・汚泥処理を可能とし環境保全を推進すると共に、汚水中継ポンプ場の機能を維持し、汚水の停滞を防ぐ。		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	下水道事業会計	
支出内訳	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
	工事請負費(補助)	391,541千円	汚水ポンプ場整備工事(補助)	91,512千円	処理場整備工事(補助)	138,155千円	処理場整備工事(補助)	513,000千円			
	工事請負費(単独)	164千円	汚水ポンプ場整備工事(単独)	19千円	汚水ポンプ場整備工事(補助)	210,750千円	汚水ポンプ場整備工事(補助)	55,000千円			
	工事請負費(純単)	80千円	処理場整備工事(補助)	389,960千円	計画策定委託料(処理場・補助)	50,340千円	調査設計等委託料(処理場・補助)	34,000千円			
	計画策定委託料(補助)	24,165千円	処理場整備工事(単独)	375千円	汚水ポンプ場整備工事(単独)	13,200千円	調査設計等委託料(処理・補助)	20,000千円			
	調査設計等委託料(補助)	11,765千円	調査設計委託料(補助)	32,120千円			汚水ポンプ場整備工事(単独)	5,000千円			
			固定資産購入費(純単独)	628千円			処理場整備工事(単独)	5,000千円			
							その他	1,100千円			
	合計	427,715千円		514,614千円		412,445千円		633,100千円			
	財源内訳/割合	国庫支出金	社会資本50%、55%	229,940千円	50%、55%	276,294千円	50%、55%	197,655千円	50%、55%	332,950千円	
県支出金											
地方債		下水道事業債100%	197,695千円	特財を除き100%	237,692千円	特財を除き100%	181,820千円	特財を除き100%	282,050千円		
その他						撤去品売払収入	7,800千円				
一般財源		繰入金	80千円	繰入金	628千円	繰入金	25,170千円	繰入金	18,100千円		
合計		427,715千円		514,614千円		412,445千円		633,100千円			
人工数 人件費	1.56人	7,750千円	1.35人	8,002千円	1.60人	8,281千円					
総経費		435,465千円		522,616千円		420,726千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	山陽小野田市ストックマネジメント計画	活動	詳細設計	詳細設計	詳細設計	詳細設計
					1件	
2	長寿命化・改築・更新及び未整備施設整備工事	活動	4件	4件	4件	4件
					5件	
3	耐水化対策	活動	計画策定		詳細設計	
			発注済		0件	
					0.00%	

成果	ストックマネジメント計画に沿って改築更新を行った。					
R8年度に向けた課題及び改善策	物価高騰、人件費高騰により、ストックマネジメント計画通りに改築更新を行う事が今後困難と予想される。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	【R5→R6繰越明許 208,000千円】支出:処理場整備工場(補助) 89,100千円、汚水ポンプ場整備工事(補助) 105,700千円、汚水ポンプ場整備工事(単独) 13,200千円 収入:国庫補助金 101,855千円、地方債 106,145千円					

R6年度 事務事業評価シート

147

課・局・室・所(係)

下水道課

管理係

事務事業番号

218040105

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
1	公共下水道整備事業	5	し尿受入施設整備事業				政策的
事業概要	小野田浄化センターの老朽化のため令和3年度に整備方針の検討を行ったところ、し尿及び浄化槽汚泥を下水道へ投入し処理することが経済的に有利との結論となった。 し尿及び浄化槽汚泥の安定処理のため、社会資本整備総合交付金を活用し、し尿受入施設を整備する。事業実施にあたっては市に代わって事業実施が可能な下水道事業団へ委任する。 令和6年度は実施設計業務を行う。				対象	し尿処理施設の整備	
					手段	社会資本総合整備事業による施設整備	
					意図	し尿及び浄化槽汚泥の安定処理	

事業期間	R4 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	下水道事業会計
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳			委託料(基本設計ほか)	10,730千円	調査設計等委託料(補助)	20,000千円		
	合計			10,730千円		20,000千円		
	財源内訳/割合		50%	5,365千円	50%	10,000千円		
	国庫支出金							
県支出金								
地方債			特財を除き100%	1,300千円	特財を除き100%	2,500千円		
その他								
一般財源			繰入金	4,065千円	繰入金	7,500千円		
合計				10,730千円		20,000千円		
人工数			0.75人	4,369千円	0.90人	5,320千円		
人件費								
総経費				15,099千円		25,320千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	し尿受入施設整備事業	活動	事業計画変更 発注済	基本設計 発注準備	基本設計 完了	実証実験
2						
3						

成果	地質調査、測量調査、処理フローの検討、下水処理への影響検討を中心に実施し、下水とし尿等の安定的な共同処理の実施に向けて検討を行った。				
R8年度に向けた課題及び改善策	影響検討の結果を踏まえ、実際の処理の実効性を確認するため、実証実験等に着手する。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	【R5→R6繰越明許 20,000千円】支出:調査設計等委託料(補助) 20,000千円 収入:国庫補助金 10,000千円、地方債 2,500千円、一般財源:7,500千円				

R6年度 事務事業評価シート

148

課・局・室・所(係)

下水道課

管理係

事務事業番号

218040106

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	公共下水道整備事業	6	レノファ山口デザインマンホール蓋作成事業				政策的	
事業概要	本市はレノファ山口のホームタウンであり、おのサンサッカーパークで同チームが練習を行っている。このことを活用するため、レノファ山口のデザインマンホール蓋をおのサンサッカーパークとおのだサンパークの動線上に設置し、市役所内にも展示を行う。また、令和7年4月発行予定でマンホールカードも作成し、おのサンサッカーパークで配布を行い、下水道の普及啓発と地域の活性化を図る。				対象	レノファ山口デザインマンホール、マンホールカード		
					手段	マンホール蓋の交換、展示台作成、新規マンホールカード作成		
					意図	下水道の普及促進、地域活性化		

事業期間	R6 年度	～	R8 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	下水道事業会計
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳					備品費	880千円	印刷製本費	149千円
					工事請負費(3条管渠費)	440千円	消耗品	33千円
合計						1,320千円		182千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他				使用料	1,320千円	使用料	182千円
	一般財源							
合計						1,320千円		182千円
人工数 人件費					0.35人	2,069千円		
総経費						3,389千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	デザインマンホール蓋の作成、設置	活動		協議	作成、設置	-
				協議	作成、設置	
2	マンホールカード配布枚数	活動		協議	作成	2,800枚
				協議	作成準備	
3						

成果	レノ丸のデザインマンホールを作成し、11月におのサンサッカーパーク入口近くの歩道に設置し、メディアにも多く取り上げてもらい、下水道事業の理解や市内にレノファ山口FCの練習拠点があることのPRができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	特になし					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R7	-
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

149 課・局・室・所(係) 下水道課 管理係 事務事業番号 218040208

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	公共下水道維持管理事業	8	下水道管理デジタル化推進事業		デジタル化		行政内部管理	
事業概要	下水道事業の効率的な運営のため、紙媒体で管理している既存の情報や金融機関との取引をデジタル化し、職員の事務負担の軽減やミスの防止を図る。 また、地下埋設物協議のWeb受付システムを導入することにより、行政サービスの質を向上させてマンパワーが不足する工事業者の業務負担の軽減を図るとともに、職員の事務を効率化する。				対象	下水道事業会計		
					手段	既存の事務のデジタル化		
					意図	下水道事業の効率的な運営・質の高い行政サービスの提供		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	下水道事業会計
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳			手数料(ADP)	10千円	賃借料(地下埋)	469千円	賃借料(地下埋)	469千円
			手数料(ネットバンク)	6千円	手数料(総合振込)	28千円	手数料(総合振込)	28千円
			備用品費	109千円	手数料(ネットバンク)	8千円	手数料(口座振替)	1千円
			システム改修委託料(浄化槽)	2,332千円	手数料(口座振替)	1千円	手数料(口座振替)	1千円
	合計			2,457千円		506千円		499千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他		使用料	2,457千円	使用料	506千円	使用料	499千円
	一般財源							
合計			2,457千円		506千円		499千円	
人工数	人件費		0.35人	2,039千円	0.30人	1,604千円		
総経費			4,496千円		2,110千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	事務取扱上のミス	成果		0件	0件	0件
				0件	0件	
				100.00%	100.00%	
2	稼働費の削減	成果		20%	20%	20%
				20%	20%	
				100.00%	100.00%	
3						

成果	事務のデジタル化により、作業内容の簡略化ができ、職員の従事時間の減少及びミス防止につながっている。					
R8年度に向けた課題及び改善策	DXが推進されていることから、デジタル化により効率化される事務があれば、費用対効果を勘案して積極的にデジタル化を推進する。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

150 課・局・室・所(係) 下水道課 維持係 事務事業番号 218040401

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	4	下水道の整備と管理		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
4	農業集落排水整備事業	1	農業集落排水施設機能強化事業				政策的	
事業概要	福田地区及び仁保の上地区の農業集落排水処理施設は、建設から20年以上経過し、設備が老朽化しているため、施設の長寿命化及び維持管理の低減を目的にストックマネジメントの手法を用いた農業集落排水施設の維持管理・更新を実施する。				対象	福田地区及び仁保の上農業集落排水施設		
					手段	ストックマネジメントの手法を用いた農業集落排水施設の改築・更新を実施する。		
					意図	老朽化している施設の長寿命化を図る。		

事業期間	R2以前	年度	～	R6	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	下水道事業会計
R4(決算額)		R5(決算額)				R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳	調査設計委託料	2,000千円		工事請負費(補助)	5,258千円	処理場整備工事(補助)	8,542千円			
	調査設計委託料(純単独)	100千円				処理場整備工事(純単)	93千円			
	合計	2,100千円			5,258千円		8,635千円			
	合計	2,100千円			5,258千円		8,635千円			
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金	団体営農村整備事業補助金50%	1,000千円	50%	2,629千円	50%	4,271千円			
	地方債	下水道事業債100%	1,000千円	特財を除き100%	2,629千円	特財を除き100%	4,200千円			
	その他									
	一般財源	繰入金	100千円	繰入金	-	繰入金	164千円			
合計		2,100千円			5,258千円		8,635千円			
人工数	人件費	0.36人	2,064千円	0.45人	2,621千円	0.40人	2,365千円			
総経費		4,164千円			7,879千円		11,000千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	福田、仁保の上地区農業集落排水処理施設機能強化	活動	詳細設計	工事 発注済	工事 工事完了	
2						
3						

成果	仁保の上地区はR5年度に、福田についてはR6年度に事業を完了した。				
R8年度に向けた課題及び改善策	R8年度に維持管理適正化計画を策定し、維持管理の効率化、適正化に向けた施設の整備を実施していく。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項	【R5→R6繰越明許 7,783千円】支出:処理場整備工場(補助) 7,742千円、処理場整備工場(純単) 41千円 収入:国庫補助金 3,871千円、地方債 3,800千円、一般財源 112千円				

R6年度 事務事業評価シート

151 課・局・室・所(係) 下水道課 管理係 事務事業番号 218050101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	18	水道の安定供給と下水道の充実	5	合併浄化槽の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	浄化槽整備推進事業	1	浄化槽整備推進事業				政策的
	公共下水道事業計画区域外及び農業集落排水整備区域外にある住宅に浄化槽を設置する人に対して補助金を交付する。 令和8年度までに汚水処理の概成を求められている中、令和2、3年度に汚水処理施設整備構想及び公共下水道全体計画の見直しを行い、令和4年度末に公共下水道で整備する区域を縮小した。計画区域から除外された地域については今後、合併処理浄化槽の設置により汚水処理整備を進めていくこととなるため、従来の補助金に上乗せを行うことで汚水処理人口普及率の向上を図る。				対象	浄化槽設置者		
					手段	浄化槽設置者に対する補助金の交付		
				意図	汚水処理人口普及率の向上、生活環境の確保と水質の保全			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	浄化槽設置整備事業補助金	24,380千円		浄化槽設置整備事業補助金	69,682千円	浄化槽設置整備事業補助金	36,384千円	浄化槽設置整備事業補助金	71,633千円	
	合計	24,380千円		69,682千円		36,384千円	71,633千円			
	国庫支出金	1/3	8,531千円	1/3	20,029千円	1/3	8,566千円	1/3	20,030千円	
	県支出金									
財源内訳/割合	地方債									
	その他									
	一般財源		15,849千円		49,653千円		27,818千円		51,603千円	
合計		24,380千円		69,682千円		36,384千円	71,633千円			
人工数	人件費	0.42人	2,760千円	0.50人	2,097千円	0.75人	3,755千円			
総経費		27,140千円		71,779千円		40,139千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7	
1	浄化槽設置整備事業補助金の新規交付基数	活動	60基	100基	100基	100基
			45基	92基	54基	
			75.00%	92.00%	54.00%	
2	汚水処理人口普及率	成果	83.7%	84.7%	85.7%	86.7%
			84.4%	85.7%	86.7%	
			100.84%	101.18%	101.17%	
3						

成果	令和5年度は制度拡大の初年度でその反動もあり、令和6年度の交付基数は大幅に落ち込んだ。しかし、令和4年度以前の交付基数の同等数以上は交付実績があり、汚水処理人口普及率の目標を上回っている。					
R8年度に向けた課題及び改善策	公共下水道の整備と併せ、引き続き事業を実施し、汚水処理人口普及率を向上させる。					
目標達成度	C	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	縮小	③
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

153 課・局・室・所(係) 土木課 道路整備係 事務事業番号 219010104

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	道路新設改良事業	4	市道くし山線道路改良事業				政策的
	市道くし山線は、JR小野田駅の北側を東西に走り県道小野田山陽線と県道小野田美東線を結ぶ延長約870mの市道である。平成25年時点では、県道小野田山陽線の4車線化計画があったため、交差点改良に影響がない区間の整備は完了している。 この度、山口県が行っている県道小野田山陽線の4車線化事業による交差点改良に併せて、市道くし山線の未整備区間の拡幅および、歩道の設置を行うことで利用者の交通安全環境の向上を図る。				対象	市民		
					手段	用地買収、拡幅工事		
					意図	市民の安全と利便性向上		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳			調査設計委託料	1,400千円	調査設計委託料	4,593千円	工事請負費	40,000千円
					調査設計委託料(繰)	4,597千円	補償費	3,000千円
							調査設計委託料	2,000千円
			4,597千円		15,436千円			
			R5からR6へ繰越		R6からR7へ繰越			
合計			1,400千円		9,190千円		45,000千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金		1/2	700千円	50%	4,477千円	50%	22,500千円
	県支出金							
	地方債		90%	600千円	90%	4,000千円	90%	20,200千円
	その他							
	一般財源			100千円		713千円		2,300千円
合計			1,400千円		9,190千円		45,000千円	
人工数 人件費			0.27人	1,573千円	0.37人	2,187千円		
総経費			2,973千円		11,377千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	事業進捗率(事業費ベース)(%)	活動		7 7 100.00%	20 20 100.00%	62
2						
3						

成果	県道小野田山陽線の4車線化事業による交差点改良に併せて、市道くし山線の未整備区間の拡幅および、歩道の設置を行うことで、利用者の交通安全環境の向上を図ることができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	継続して事業を実施していく。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

154 課・局・室・所(係) 土木課 道路整備係 事務事業番号 219010108

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	道路新設改良事業	8	AIによる橋梁インフラ点検・診断システム導入事業		デジタル化		政策的
	市道橋については、道路法施行規則の規定により5年に1回の頻度で点検を行っており、令和5年度に2巡目の点検が終了する。職員点検では診断及び調書作成に多くの時間を要し、委託点検では昨今の労務費上昇により業務費が増加傾向にあるなどコスト面に課題がある。そのため、山口県が開発した『AIによる橋梁インフラ点検・診断システム』を導入することで橋梁の定期点検にかかるコスト削減を図ることができるとともに、AIによる健全度診断と調書の自動作成により作業時間が削減され職員の事務負担の軽減に寄与できる。				対象	橋長2.0m以上の橋梁、歩道橋		
					手段	道路橋点検		
					意図	点検コストの削減		

事業期間	R6 年度	～	R11以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳					庁用器具費	222千円	データサービス使用料	23千円
					データサービス使用料	1千円	システム利用料	23千円
					システム利用料	4千円		
					契約事務手数料	4千円		
					通信運搬費	5千円		
	合計						236千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						236千円	
合計						236千円		46千円
人工数 人件費					0.22人	1,300千円		
総経費						1,536千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	システム導入	成果			1	
					1	
					100.00%	
2	点検橋梁数	活動			23	51
					23	
					100.00%	
3						

成果	山口県が開発した『AIによる橋梁インフラ点検・診断システム』を導入することで、橋梁の定期点検にかかるコスト削減を図ることができたとともに、AIによる健全度診断と調書の自動作成により作業時間が削減され職員の事務負担の軽減に寄与できた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	継続して事業を実施していく。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

155 課・局・室・所(係) 土木課 管理係 事務事業番号 219010303

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
3	市道管理事業	3	道路台帳整備事業(臨時)				行政内部管理	
事業概要	道路法で作成が義務つけられている道路台帳について、毎年適切に更新する。				対象	市道		
					手段	新設・改良または廃止した市道の調書及び図面の更新		
					意図	法に基づく台帳整備		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)			R7(予算額)	
支出内訳	道路台帳整備委託料	7,976千円		道路台帳整備委託料	3,906千円		道路台帳整備委託料	5,673千円		道路台帳整備委託料	8,600千円
	合計	7,976千円		3,906千円			5,673千円			8,600千円	
財源内訳/割合	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										
一般財源	7,976千円		3,906千円			5,673千円			8,600千円		
合計	7,976千円		3,906千円			5,673千円			8,600千円		
人工数 人件費	0.21人	1,204千円		0.16人	932千円		0.07人	414千円			
総経費		9,180千円			4,838千円			6,087千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	市道(実延長)(m)	活動	実延長	実延長	実延長	
			322475	322475	322475	
2	台帳修正(修正延長)(m)	活動	修正延長	修正延長	修正延長	
			2763	-52	707	
3						

成果	道路法で義務付けられており、適正に更新した。				
R8年度に向けた課題及び改善策	道路台帳は道路行政の基礎資料となるため、最新の状態を維持していく。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

156 課・局・室・所(係) 土木課 道路整備係 事務事業番号 219010503

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
5	道路維持補修事業	3	道路橋りょう維持補修事業(工事費・臨時)				政策的	
事業概要	道路の維持管理に必要な側溝等の道路構造物の新設や改良を行う。経常的経費だけでは山積する住民の要望に応えられないため、臨時的経費において対応する。				対象	市道		
					手段	舗装改修、側溝改修、付属施設改修		
					意図	安全性、利便性の向上		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
支出内訳	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
	工事請負費	3,000千円	工事請負費	17,777千円	工事請負費	1,940千円	工事請負費	2,000千円		
	合計	3,000千円		17,777千円		1,940千円		2,000千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債		100%	14,700千円						
	その他									
	一般財源	3,000千円		3,077千円		1,940千円		2,000千円		
合計	3,000千円		17,777千円		1,940千円		2,000千円			
人工数 人件費	0.14人	803千円	0.06人	350千円	0.12人	710千円				
総経費		3,803千円		18,127千円		2,650千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	維持補修箇所(箇所)	成果	1	1	1	工事箇所
			1	1	1	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	道路の維持管理に必要な側溝等の道路構造物の改良を実施することが出来た。					
R8年度に向けた課題及び改善策	事業数が多くあり、R7年度時点で待機となっている件数が多くあり、対応していくには予算不足が毎年度生じていることからさらなる予算を確保していく必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

157 課・局・室・所(係) 土木課 管理係 事務事業番号 219010602

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	1	道路網の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
6	小規模土木事業	2	小規模土木事業(臨時)				政策的	
事業概要	生活に密接する公共性の高い道路、水路等を整備する自治会に助成金を交付する。 事業費限度額:200万円 補助率:70%				対象	市民(自治会)		
					手段	自治会の事業を審査し、補助金を交付		
					意図	市民の生活環境の向上を図る		

事業期間	R2以前	年度	~	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)			R7(予算額)
支出内訳	小規模土木事業助成金	4,802千円		小規模土木事業助成金	6,278千円		小規模土木事業助成金	25,299千円		小規模土木事業助成金 29,230千円
	合計	4,802千円		6,278千円		25,299千円		29,230千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
一般財源	4,802千円		6,278千円		25,299千円		29,230千円			
合計	4,802千円		6,278千円		25,299千円		29,230千円			
人工数 人件費	0.57人	2,935千円	0.32人	1,864千円	0.27人	1,596千円				
総経費	7,737千円		8,142千円		26,895千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	実施件数(件)	活動	60	60	46	
2	待機件数(件)	活動	46	42	32	
3						

成果	46件の事業に対し補助金を交付し、住民の利便性向上に寄与することができた。				
R8年度に向けた課題及び改善策	待機期間が延びないように必要な予算を確保していく。また、自治会規模によらず活用できるよう、適宜制度を見直していく。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

158 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	地域交通推進事業	1	JRローカル線利用促進事業				政策的
	JR美祢線、JR小野田線の利用促進を図るため、沿線市、県、JR西日本、その他関係団体と協働して利用促進協議会を設置し、利用助成事業や普及啓発、近隣他路線との連携事業等により、JRローカル線の利用促進を図る。 【令和6年度】 《JR美祢線》利用促進協議会の内部に設けられたWGにおいて、JR美祢線復旧後の利用促進策を検討するため、事例研究や各種調査等を実施する。 《JR小野田線》沿線地域における公共交通利用ガイドの作成や、主な利用者である高校・大学等に対する重点的な広報など、公共交通利用者の拡大を図る。				対象	JR美祢線利用促進協議会 山陽小野田市JR小野田線利用促進協議会		
					手段	JR美祢線利用促進協議会負担金の交付 山陽小野田市JR小野田線利用促進協議会への補助金交付		
					意図	JR美祢線、JR小野田線の利用促進		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	JR美祢線利用促進	1,300千円								
	協議会負担金		協議会負担金		協議会負担金		協議会補助金		協議会補助金	
	JR小野田線利用促進	213千円	JR小野田線利用促進	106千円	JR小野田線利用促進	123千円	JR小野田線利用促進	300千円	JR小野田線利用促進	300千円
	協議会補助金		協議会負担金補助金		協議会補助金		協議会補助金		協議会補助金	
合計	1,513千円		1,406千円		1,423千円		1,600千円			
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他		まちづくり魅力基金	1,406千円	まちづくり魅力基金	1,423千円	まちづくり魅力基金	1,600千円		
一般財源	1,513千円									
合計	1,513千円		1,406千円		1,423千円		1,600千円			
人工数 人件費	0.27人	1,548千円	0.56人	3,058千円	0.75人	4,264千円				
総経費	3,061千円		4,464千円		5,687千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7
1	JR美祢線の1日あたりの乗降者数 (※R5は代行バスの乗降者数を含む)	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く	未定
		367人	295人	集計中	
2	JR小野田線の1日あたりの乗降者数	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く	未定
		414人	413人	集計中	
3					

成果	JR美祢線が運休中のため、協議会の事業の多くが実施できなかったが、美祢線(代行バス)の利用者への支援やイベント等を実施した。また、新たに協議会内に設置した「復旧検討部会」により、鉄道や鉄道以外による復旧の整理・検討を行うとともに、代行バス実証快速便の運行を行った。 JR小野田線については、前年に引き続き、定期券等の利用補助や駅舎のハロウィン装飾を実施した。					
R8年度に向けた課題及び改善策	JR美祢線については、今後、詳細な復旧方法についての検討が進んだ場合、新たな費用負担が発生する可能性がある。 JR小野田線については、沿線住民の生活利用が促進されるよう、マイレール意識の着実な醸成を図っていく。					
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

159 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	地域交通推進事業	3	駅舎バリアフリー化整備事業				政策的
	国のバリアフリー法により「1日の利用者数3000人以上」の鉄道駅が整備目標となり、JR西日本が該当するJR厚狭駅にエレベーター等を設置するバリアフリー化工事を行う(負担割合:国1/3、地方公共団体1/3、JR1/3)。 在来線柵外に整備する多機能トイレは、公衆トイレとして市が清掃委託により維持管理を行う。 【令和6年度】 在来線:新規エレベーター設置工事(2番線・3番線、1番線)・通路上屋整備、列車接近表示機・音声音響案内・券売機下蹴込・引戸・触知案内板整備、多機能トイレ維持管理 【3月補正】 物価高騰の影響により事業費が増額となったため、国庫補助額と同様に市補助金を増額するもの。				対象	JR西日本		
					手段	エレベーター等バリアフリー施設の整備に対する補助金の支出 柵外トイレの維持管理に対する負担金の支出		
					意図	交通移動の円滑化		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳	交通施設バリアフリー化	28,698千円		清掃委託料	1,188千円	交通施設バリアフリー化	20,300千円	清掃委託料	1,560千円	
	整備事業補助金			光熱水費負担金	353千円	整備事業補助金		光熱水費負担金	550千円	
				下水道代負担金	242千円	(繰越)	40,128千円	下水道代負担金	330千円	
				交通施設バリアフリー化	16,666千円	清掃委託料	1,485千円	修繕費	100千円	
				整備事業補助金		光熱水費負担金	577千円	保険料	1千円	
				交通施設バリアフリー化	73,094千円	下水道代負担金	335千円			
				整備事業補助金(繰越)		保険料	1千円			
合計		28,698千円		91,543千円		62,826千円		2,541千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源		28,698千円		91,543千円		62,826千円		2,541千円	
合計		28,698千円		91,543千円		62,826千円		2,541千円		
人工数	0.05人	287千円		0.05人	291千円	0.05人	296千円			
総経費		28,985千円		91,834千円		63,122千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	エレベーター設置等(在来線厚狭駅)	活動	工事	工事	工事	工事
			工事	工事	工事	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	令和6年度の当初計画では、エレベーター2基の整備、通路上家新設、券売機下蹴込整備、引戸整備、触知案内板整備、列車接近表示器、音声音響案内装置、支障移転工事等を行う予定であったが、交付決定後の令和6年6月のエレベーター整備施工時にホーム地中障害物の撤去に時間を要したことから、年度中の完成が困難となり、工事の一部が令和7年度に繰越となった。					
R8年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
	成果	完了	完了年度	R7	-	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

160 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020114

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	地域交通推進事業	14	JR小野田線活性化事業				政策的	
事業概要	JR小野田線の活性化を図ることを目的に、本市及び県、宇部市、西日本旅客鉄道株式会社、山口大学、山口東京理科大学で「JR小野田線活性化委員会」を組織し、小野田線をより利用し易くする仕組みづくりや、小野田線の運行区間である宇部市との連携事業の実施などを通じて利用促進を図る。				対象	JR小野田線活性化委員会		
					手段	JR小野田線活性化委員会への負担金支出		
					意図	JR小野田線の利用促進		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	JR小野田線	895千円	JR小野田線	353千円	JR小野田線	541千円	JR小野田線	900千円		
	活性化事業負担金		活性化事業負担金		活性化事業負担金		活性化事業負担金			
	合計	895千円		353千円		541千円		900千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他			まちづくり魅力基金	353千円	まちづくり魅力基金	541千円	まちづくり魅力基金	900千円	
一般財源	895千円									
合計	895千円		353千円		541千円		900千円			
人工数 人件費	0.10人	573千円	0.10人	583千円	0.40人	2,365千円				
総経費		1,468千円		936千円		2,906千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	JR小野田線の一日常たりの乗者人数	成果	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く
			414人	413人	集計中	
			-	-	-	
2	JR小野田線活性化委員会事業への参加者数	成果	1000人	1000人	1000人	未定
			2828人	1851人	2038人	
			282.8%	185.10%	203.80%	
3						

成果	沿線の山陽小野田市、宇部市にとって必要不可欠な交通インフラとして、両市民が小野田線の重要性を改めて認識し、確実かつ持続的な利用につながるよう、宇部線と連携した広域的なスタンプラリーを実施するとともに、鉄道とバスの共通乗車実証事業を見据えたモニター実験を実施し、利用促進の取組を展開した。					
R8年度に向けた課題及び改善策	令和5年4月に地域交通法が改正され、全国的にJRローカル線の再構築を図ることが急務となっている。沿線住民の生活利用が促進されるよう、マイルール意識の着実な醸成を図るとともに、沿線市や県、JR西日本、バス事業者、学識経験者とともに、鉄道とバスの共通乗車事業をはじめとする実証事業に取り組み、抜本的な小野田線の利用促進の事業を展開していく。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	拡大	①
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

161 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020119

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
事業概要	1	地域交通推進事業	19	高泊地区デマンド型交通運営事業		デジタル化	政策的
	令和4年度に策定した地域公共交通計画に基づき、R4.10月のバスのダイヤ改正に合わせ、「高畑・高泊循環線」のうち「高泊地区路線」を廃止するとともに、同エリアを対象に、タクシー会社によるデマンド型交通を導入する。 ※デマンドタクシーは、R4.10月からR5.9月まで実証運行を実施し、その後本格運行(R5.10～)に移行する。 ※R6当初予算に合わせ、R7債務負担行為を設定する(R7～R9)。				対象	交通不便者	
					手段	高泊地区内に設定した停留所から、目的地をつなぐ運送サービスを実施。	
					意図	生活交通の維持、地域公共交通の利用促進	

事業期間	R4 年度		～	R10以降 年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	デマンド型交通	2,885千円		デマンド型交通	5,680千円		デマンド型交通	5,928千円	デマンド型交通	6,200千円
	運行業務委託料			運行業務委託料			運行業務委託料		運行業務委託料	
	停留所看板	234千円							印刷製本費	88千円
	作成委託料									
	印刷製本費	135千円								
	消耗品費	6千円								
合計	3,260千円			5,680千円			5,928千円		6,288千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他						デマンド交通運行維持費補助金	358千円	デマンド交通運行維持費補助金	500千円
	一般財源	3,260千円			5,680千円			5,570千円		5,788千円
合計	3,260千円			5,680千円			5,928千円		6,288千円	
人工数 人件費	0.16人	917千円		0.16人	728千円		0.09人	362千円		
総経費	4,177千円			6,408千円			6,290千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	デマンド型交通運行日数(実証運行分)	活動	73日	142日	143日	142日
			70日	137日	141日	
			95.89%	96.48%	98.60%	
2	一日当たり乗車人数	成果	16人	16人	6人	7人
			4.8人	6.9人	6.4人	
			30.00%	43.12%	106.67%	
3	一日当たり稼働率	成果	60%	60%	30%	30%
			23%	31%	30%	
			38.33%	51.67%	100.00%	

成果	高泊地区におけるデマンド型交通は、令和4年10月から令和5年9月までの実証運行をへて、令和5年10月より本格運行しており、マイカーを自由に利用できない方の交通手段として機能している。				
R8年度に向けた課題及び改善策	対象自治会等への広報活動を行うとともに、事業者との意見交換等を実施し、サービスの維持及び向上を目指す。				
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

162 課・局・室・所(係) 商工労働課 公共交通対策室 事務事業番号 219020120

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	2	持続可能な地域公共交通網の形成		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	地域交通推進事業	20	「バス・タクシー運転士体験会&就業説明フェア」開催事業				政策的
	県央連携都市圏域の7市町で、バス・タクシーの車両や現役運転士と接する機会を設け、公共交通事業への理解を促進し、就業へ結びつけることを目的として、「バス・タクシー運転士体験会&就業説明フェア」を開催する。 ※山口市、宇部市の2会場で実施				対象	バス・タクシー運転士体験会&就業説明フェア実行委員会(仮称) ※今後、関係7市町で調整		
					手段	バス・タクシー運転士体験会&就業説明フェア実行委員会(仮称)負担金の交付		
					意図	バス、タクシー運転士の就業促進		

事業期間	R5 年度	~	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳			山口県央連携都市圏域事業負担金	102千円	山口県央連携都市圏域事業負担金	105千円	山口県央連携都市圏域事業負担金	117千円
	合計			102千円		105千円		117千円
財源内訳/割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			102千円		105千円		117千円
合計			102千円		105千円		117千円	
人工数 人件費			0.01人	58千円	0.01人	59千円		
総経費				160千円		164千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	フェア参加者数	活動		50人	50人	50人
				61人	56人	
				122.00%	112.00%	
2	参加事業者数(市内運行事業者)	活動		3社	3社	3社
				4社	4社	
				133.33%	133.33%	
3						

成果	フェアの開催2年目となり、運転士の就業につながった事例もあったとのこと。実際にバスやタクシーの運転を体験できる機会の提供により、一定の効果があったと思われる。慢性的な運転士不足解消のため、今後も継続して取り組む必要がある。					
R8年度に向けた課題及び改善策	参加者のさらなる増加に向け、周知の強化やフェアの取組内容の工夫等が必要。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

163 課・局・室・所(係) 土木課 河川港湾係 事務事業番号 219050104

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	19	道路・交通網及び港湾施設の充実	5	港湾施設の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	港湾施設整備事業	4	港湾脱炭素化推進計画策定事業負担金				政策的
	小野田港は重要港湾に指定されており、地域経済発展のため、山口県と連携して整備を進めている港湾施設である。将来的な脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や、水素等の受入環境の整備を図るカーボンニュートラルポートへの対応を見据え、県と協調して宇部港・小野田港で一体的に「港湾脱炭素化推進計画」の策定に取り組む。					対象	港湾施設	
					手段	県が行う港湾脱炭素化推進計画事業費の一部を負担する		
					意図	脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化		

事業期間	R6 年度	～	R7 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳					県事業負担金	900千円	県事業負担金	720千円
	合計					900千円		720千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
一般財源						900千円		720千円
合計						900千円		720千円
人工数 人件費					0.15人	887千円		
総経費						1,787千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7
1	県事業負担金(千円)	成果		負担金	負担金
2					
3					

成果	山口県と連携し、小野田港に関する港湾脱炭素化推進計画策定事業を進めていくことが出来た。				
R8年度に向けた課題及び改善策	港湾施設脱炭素化推進計画策定に関し、引き続き取り組む必要がある。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

164 課・局・室・所(係) 都市計画課 計画係 事務事業番号 220020201

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	3	都市基盤	20	適正な土地利用の推進	2	市街地の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	コンパクトなまちづくりモデル事業	1	山陽小野田市厚狭駅南部地区定住奨励金事業				政策的	
事業概要	「厚狭駅南部地区まちづくり基本計画」に基づき、厚狭駅南部地区のモデル地区において定住を促進し地域の活性化を推進するため、モデル地区内に定住する意思をもって住宅を取得し居住した者に対し奨励金を交付する。交付期間は令和7年度末までの5年間としている。				対象	モデル地区内に定住する意思をもって住宅を取得し居住した者		
					手段	奨励金の交付		
					意図	モデル地区における定住促進と地域の活性化を図る		

事業期間	R3 年度 ~		R7 年度		予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳	定住奨励金	600千円	定住奨励金	600千円	定住奨励金	200千円	定住奨励金	600千円	
	合計	600千円		600千円		200千円		600千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他		まちづくり魅力基金	600千円	まちづくり魅力基金	200千円			
	一般財源	600千円							600千円
合計	600千円		600千円		200千円			600千円	
人工数 人件費	0.01人	57千円	0.00人	千円	0.01人	59千円			
総経費		657千円		600千円		259千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	定住奨励金の交付数	活動	5	5	5	3
			3	3	1	
			60.00%	60.00%	20.00%	
2						
3						

成果	1件の申請に対して交付決定を行った。					
R8年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	D	R8年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R7	-
特記事項	交付件数の推移は、令和3年度=2件、令和4年度=3件、令和5年度=3件、令和6年度=1件である。交付申請期限を令和8年3月31日とする。					